（事前配布資料）

【区政会議でのご意見を反映した事例】

港区役所では、日頃 区民の方からお寄せいただく声や、区政会議でのご意見を踏まえ、関係部署との連携や情報共有、また見直しや改善、新たな取組みを進めています。

区政会議でのご意見

外国籍住民の中には、ごみをどうやって捨てるのか分からない人もいる。
ホームページには載っているのかもしれないが、ごみの捨て方や分別に関する情報を、まちなかの掲示板に載せてほしい。

区役所回答（６月 11 日）

大阪市ではごみの収集を担当している環境局が「ごみのマナーＡＢＣ」というリーフレットを出しており、英語・中国語・韓国語だけでなくベトナム語とか様々な言語で情報を提供しています。もし周りで分からないという方がいたら、ホームページで各言語のリーフレットもご覧いただけるようにしておりますので、それをご紹介いただくか、あるいは区役所に問い合わせいただくとお渡しできます。

ご指摘いただいたとおり、掲示板では周知していないので、簡単なポスターを作って貼ることを考えます。

★その後の対応

ごみの捨て方を詳しく載せている「ごみのマナーＡＢＣ」に繋がる２次元コードを載せた多言語によるポスターを作成し、区内に約 50 か所ある掲示板に貼り出しました。

＊７月下旬から当面の間、掲出予定です。







区政会議でのご意見
港区の魅力とは？ 一体どこに訪れたら良い？ 海遊館のみ？ どこの店？

区役所回答（３月９日）
住む街・港区としての魅力は、身近な場所に公園が多く、道路が整備されていること。これは、戦災と高潮からの復興として長きにわたり区内のほぼ全域で取り組まれた区画整理事業によるものです。
訪れる街としては、やはり天保山エリア（海遊館、天保山大観覧車など）に代表される大阪屈指の観光地が注目を集めていますが、他にも歴史のある商店街、海や川を身近に感じられる渡船、年間を通して数々のイベントが繰り広げられる 大阪ベイタワー(アトリウム)や八幡屋公園（中央体育館）なども港区らしい魅力あるスポットですし、他にもまだまだ多くの魅力ある施設やお店が挙げられるでしょう。港区の隠れた魅力を発掘、または新たに生み出しながら、区の内外に発信する「みなトクモン」の取組みにも、ぜひご注目ください。

★その後の対応＜追加＞
訪れるまちとしての魅力に関して、
✓広報みなと４月号に「春の弁天町を歩こう♪」と題し、エリアの魅力や見どころを紹介し まち歩きをおススメする記事を掲載
✓「みなトクモン」の関連では、同５月号から港区ならではの製品・商品やそれらを支える人の魅力を紹介するコラム「＃キラリみなと」の連載を開始し、10 月号まで「みなトクモン」の認定商品を紹介。

＜追加＞住むまちとしての魅力に関して
広報みなと７月号の特集記事で「大阪・みなと暮らし」～住みたいまち・住み続けたいまち～をテーマに、お住まいの方自らが、住むまちとしての港区の魅力を語っていただく記事を掲載しました。



